け上たによいし者ま大ろり雲を皆でてに生いれすが新残め 有げ。処りて上とっ変ん吉南ささごいわ届事とる、聞念な第 りま重理一戸げしたな、田市せん両なたを件い事旧ででけー ますねし切籍まてこ不雲町のてに親かり受がう務吉報すれ号 。ててのへす心と信南民スし大はっ戸けあ有手田道。ばで ん本おい手の。か、感市のタま変じた籍てりっ続村さーなお で当詫た続搭雲ら当を民皆しい不めとに二まてきでれ月ら詫 しにびだき載南お時与の様トま快ごい記年しはで戸ま二なび た申をきをは市詫のえ皆はにしな家う載四たな記籍し十いか 。し申ま適もにび責て様も当た思族もさケ。ら載にた一のら 訳しし切とお申任しにちた。いののれ月出な漏対

りい声い発がりし身これ初活<mark>地雲</mark>こ属る回こ特属り長六 ときがと展らまてのとのめ動開南のす議のと別し、は日市 おた一思の吉し各議に役てす発総他る会定に委ま私じか議 申い番いた田た部員な割のる公合一こ広例な員しはめら会 しとでまめ町。会はりを議こ<mark>社病</mark>部と<mark>報</mark>議り会た総議始選 付思すすには三に三ま各会と理院事に編会ま委。務会ま挙 けい。。努も人は人す旧でに事議務な集のし員こ常のっが くま市皆力と連いそが町もなな会組り委たた長の任構た終 だす政さしよ携るれ、村ありど、合ま員び。に他委成初わ さのにんてりをこぞ吉分りまに雲でし会にま就高員が議り いで届の行雲取とれ田担そし所南はたに発た任速会決会十 何け生き南りに分村すれた属市公。も行年す道にまで二 なてのた市なな担出るぞ。し土立 所す四る路所

。しいに十吉年初吉 たたな九田をめ田 だり日村おて村 何くまか長迎のも でたしらとえお合 もめた雲しの正併 結に。南てこ月し 構っ今市おとをて でほ後議世と迎早 すり少会話思え3 °えし議にいまヶ ご眞で員なまし月 意報もとっすたが 見」雲して。。経 をを南てき私皆過 お発市おまは様し 聞行の世しこに雲 かす様話たれは南 せる子にがまお市

いま解と二間新て

お

V)

雲

南

決市

ま議

り会

ま構

し成

たが

察た町っいいの馬史吉っを雪

でだの〈また物遼資田た見の

しき良りすだ語太産町のてた

第一号 2005年 1月30日 発行 〈事をな十で元民 連絡先 だにごる一長気と 75-0236 さし理こ月いでし

市 市会 内議

タは交発のり里見湯道いこをいム町にし 地の茂公道東次セ大感」う平回二たて全な ┗ 吉っ言思 ` の地へをまと広までで向て二等他町園バ町町ン原し広面方り日 ° 市員い新 で田てがい周議区向一す。げし香はか雪日を、でのイ総尾タ郡まい積キま目一内二一年 屈村いあが辺員なか路。活てた川だい模目見銅は予パ合原 ^I 内 b - だ口 b は日視台月気 まちわ地さどい波こ躍お。社んま様はて鐸総定スセダを、たとけメた飯目察の十分 と総しこか域ん豪ま多のをら着長だしの前回記合地施ンム皮木。いに □ 。石はを車一も ン合たちっのは雪しの他期れ々のんた中日り念セな行タ現切次一う流ト五郡旧行に日抜 タセ。でた皆び地た万広待ると話フ。飯とま館ンど現「場り町日の石ル百を大い分)け ┃ン最飛とさっ帯。寿域しと販をァ掛石ーし予タ。場ゝゝに総目をにと四見原ま乗議き 後びのん〈に穴の農ての路同 | 合郡転た定 | 加、県大木合、実 い十て郡しし員ら

掛合だんだんファームを視察

いら日様の対す協らしれ土国活一高 きえでのがす。議県たぞ木交動月速 たるも御ある依の境。れ部省を十道 いよ早協る批然調ま二に、、行九特 とう〈力中判と印で月要道県い日別 思に着をではしがのに望路高ま初委 い努手頂す厳て行間はを公速しめ員 ま力しいがし高わ、吉行団道たて会 すしてて`い速れ設田い`課 °ても一皆もにま計かまそ `

たたさお。いに郎、のはいめ い理身い施向き 。いを招是た興の出持残た吉 か解体て設か、 と体き非の味話雲つ念だ田 とを医い長いケ 感感し春でをなの様でけ町 思頂学たのまア じしてには持ど阿々しな街 いい研だ話しポ とっ多国なた また究きも たて吉 並

視い田ゆ思て〈司歴がかみ大すの所今熱たトの

速 初道 陳特 情委



県境まで早期着手を要望

編集後記 とりあえず第 -号が完成 しました。今 後内容を充 実していきた いと思いま す真

員 視全 察員

。で」後心。吉話

はにのに板田を

なご、聞垣に聞